



北海道胆振東部地震の被災地である厚真町での、緊急消防援助隊秋田県隊の救助活動の様子

市長コラム

日頃からの備え

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

日頃からの備え〜災害列島日本

ひんやりとした夜空に、くつきりと月が浮かぶ秋の夜長、何をするにもいい季節になりました。それにしても、今年の夏、日本列島では大きな災害が相次ぎました。手元に9月7日の秋田魁新報があります。1面に大きく「北海道震度7」、紙面をめくるとやや大きく「関空きょう一部再開」、その下には「政府、西日本豪雨復旧へ追加支援」。これらは順に、「平成30年北海道胆振東部地震」、台風21号の影響で運用が止まっていた関西国際空港、7月、広島県や岡山県、愛媛県などで甚大な被害が出た西日本豪雨の関係記事です。いずれも数年に一度あるかないか、あるいはそれ以上の規模の災害が立て続けに発生しています。現在でも、日本中で多くのかたが仮設住宅や避難所で不自由な暮らしを余儀なくされており、中には発生から7年が過ぎた東日本大震

災の被災者も数多くいます。天災は忘れた頃にやってくる、のではなく、私たちに忘れるいとまを与えなくなっています。災害はいつかはわからないだけで、「やってくる」ことを前提に考える必要があります。市の災害対策基本条例は、自助・共助・公助の大切さを表しています。公助として、行政が安全・安心なまちづくりや地域ぐるみでの防災対策を推進することはもちろんです。行政は万能ではありません。特に災害発生直後は、自助、市民一人一人の行動が自らの命や生活を守ることにつながります。西日本豪雨の際、倉敷市では、ほぼハザードマップ想定どおりに浸水が起きていますが、残念ながら多くのかたが犠牲となりました。日頃から食料・水などの備蓄を心がけ、全戸配布しているハザードマップや避難場所、経路な

どについては、今一度確認していただきたいと思います。冒頭で触れた、北海道胆振東部地震の際には秋田市消防本部からも緊急消防援助隊を派遣しています。9月6日未明に地震が発生し、消防庁からの出動要請を受け、午前6時50分には隊員30人が秋田港から苫小牧へフェリーで出航し、その日のうちに被災地に入り活動に合流しています。あのような土砂崩れの現場では、ことさらに慎重を要する救助作業となります。消防隊員として、市民の安全・安心を担う使命・責務はありますが、心身に負担を伴う困難な仕事といえます。被災地の一日も早い復旧を祈るとともに、現地で任務についた隊員のこういった日頃の努力をねぎらうべく、この欄を借りて、どうしても市民のみなさんに伝えたいと思つた次第です。

◆秋田市のハザードマップについては、防災安全対策課へお問い合わせください。☎(888)5434
市ホームページでも公開しています。【広報ID番号 1002188】

…「広報ID番号」は、秋田市ホームページ画面上でのページ検索の際に入力してください。



平和を願うメッセージ



最優秀賞の佐藤美咲さん(左)と佐藤ゆかりさん(右) (8月27日の表彰式で)

小・中学生から募集した「平和へのメッセージ」に35点の応募があり、審査の結果、次のみなさんが入賞しました。最優秀賞作品は、市ホームページでご覧になれます。

■広報ID番号 1004691
福祉総務課地域福祉推進室

☎(0888)5661

小学生の部

最優秀賞▶佐藤美咲(土崎南)

優秀賞▶熊谷穂杏(土崎南)

佳作▶中野美優・保坂如乃・渡邊蓮(以上飯島南)、池田会里・金 椿生・戸嶋心和・前田駿・村上晴(以上港北)

中学生の部

最優秀賞▶佐藤ゆかり(将軍野)

優秀賞▶大高優羽(土崎)

佳作▶伊藤花音(秋田南)、伊藤真優・永澤璃子(以上飯島)、柏崎仁子(将軍野)、嵯峨みづ希(外旭川)、加藤羽人・加藤百華・畠山可帆(以上土崎)

*敬称略。()内は学校名。

がん研究拠点新たに誕生



セルスペクト(株)の岩渕拓也代表取締役(中央)と佐竹知事、穂積市長(8月29日の誘致企業決定通知書交付式で)

8月29日、県と市は、「セルスペクト(株)〔本社・盛岡市)を誘致企業として受け入れることを発表しました。

同社は、POCT(※)に関連する分析装置や診断薬の開発などを行っており、新たに「セルスペクト(株)パソロジーリサーチセンター」を新屋町に設立し、研究開発を進めています。

秋田市への誘致企業の受け入れは、昭和61年度以降では82番目となります(今年度は1社目)。

企業立地雇用課☎(888)5733

セルスペクト(株)

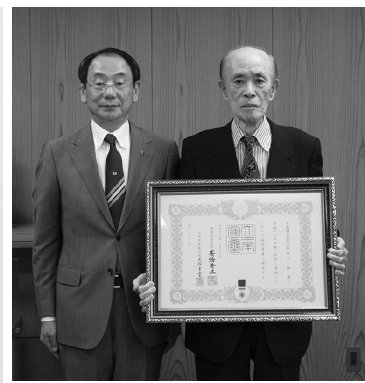
パソロジーリサーチセンター

事業内容▶患者に適した抗がん剤投与量を迅速に判定するシステムの開発など 資本金▶9億5千810万円 設備投資額▶5千万円

新規雇用▶操業時4人(将来計画10人)

※場所や場面を問わず、迅速かつ適切な診察を行うことができる検査。

甲冑の寄贈に紺綬褒章



右が長谷川駒造さん (9月4日の伝達式で)

秋田藩4代藩主佐竹義格公所用の甲冑を、昨年に寄贈された長谷川駒造さんに、このたび国から紺綬褒章(※)が授与され、9月4日に伝達式を行いました。

佐竹義格公は、元禄16(1703)年に家督を継ぎ、22歳の若さで亡くなっています。歴史的資料として、また工芸品としても価値がある貴重な甲冑です。佐竹史料館で11月30日(金)から展示します。ぜひご覧ください。



↑佐竹義格公所用 丸龍文時絵紺糸織 二枚胴具足1領

女性消防隊が県大会で優勝!



軽可搬ポンプ操法の部で優勝した秋田市女性消防隊と消防団本部のみなさん

9月1日、由利本荘市の秋田県消防学校で開催された「第55回秋田県消防操法大会」に、秋田市支部代表として出場した秋田市女性消防隊が軽可搬ポンプ操法の部で優勝しました。また、保戸野分団がポンプ車操法の部で4位、河辺第一分団が小型ポンプ操法の部で7位でした。

なお、秋田市女性消防隊の木村綾子さん、保戸野分団の柴田力さんと佐藤聖仁さんが優秀選手賞に選ばれました。おめでとうございます。消防本部警防課☎(823)4243

※公益のために私財を寄付されたかたを顕彰する内閣府の制度。個人は500万円以上、団体は1千万円以上の寄付が対象です。